

議会の動き

平成十八年第一回洞爺村議会臨時会

一般会計補正予算ほか

五議案を原案どおり可決

平成第十八年第一回洞爺村議会臨時会が、二月二十二日開かれ、「平成十七年度洞爺村一般会計補正予算」ほか合わせて五議案が原案どおり可決されました。

一般会計補正予算

大雪による村道除雪委託やソウベツ川河岸災害復旧工事等に伴う追加補正、村道改良舗装事業等の完了や地域総合整備資金貸付事業の本年度中止などに伴う減額補正などによるものです。

虻田町・洞爺村合併協議会の廃止について

二町村の合併協議が終了することによるものです。

虻田町及び洞爺村の合併に関する業務の事務委託廃止について

合併準備のための事務が終了することによるものです。

胆振西部六市町村介護認定審査会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び胆振西部六市町村介護認定審査会共同設置規約の変更について

伊達市と大滝村の合併によるものです。

胆振西部介護認定審査会の廃止について

合併に伴い、新たな形で認定審査会を設置することによるものです。

新たな「西胆振消防組合」

スタートを祝い記念式典

胆振西部五町村が組織する西胆振消防組合と伊達市消防が合併し、二月一日、新たな「西胆振消防組合」が誕生したことから、同日午前十一時伊達市消防・防災センターにおいて、西胆振消防組合広域再編記念式典が行われました。

式典には、各市町村の首長や議長、消防関係者など約百五十人が出席し、新組織のスタートを祝うとともに、決意を新たにしました。

同組合管理者に選任された菊谷秀吉伊達市長が、「市町村合併により一市三町となるが、この地域にふさわしい消防力の強化、消防活動活性化を探り、災害の少ない安全で安心な防災体制を確立したい」と式辞を述べたほか、同組合議会議長の松岡範男豊浦町議会議員、来賓の佐藤功胆振支庁長、岩間英彦道議会議員、西重幸室蘭市消防団長が祝辞を述べました。

今後は、同組合消防本部を同センターに置き、当面、同組合伊達消防署と同組合洞爺湖消防署の二署体制で運営されます。

消防署洞爺支署として、引き続き職員七名の三交代制（支署長は除く）で、消防車両も変わらず四台（タンク車、大型水槽車、積載車、広報車）体制となっています。

洞爺支署は、同組合洞爺湖



西胆振消防組合管理者に選任されあいさつする菊谷伊達市長